

南ぬ風

一般財団法人 沖縄美ら島財団 広報誌

ふえーぬかじ

Vol.26
2013.1~3
冬号

沖縄美ら島財団発足記念

スペシャルインタビュー

琉球銀行相談役

大城 勇夫 氏

株式会社フジテレビジョン
役員待遇 特区事業準備室長

松本 守 氏

イベント特集

第27回沖縄国際洋蘭博覧会&APOC11

第23回全国椿サミット沖縄大会

美ら島 ワクワク工作室

身近な素材を使ったクラフトや工作、昔ながらの手作りおもちゃなどを紹介します。

作り方

※作り方をわかりやすく見せるため、乾燥したアダンの葉に着色しています。



① 2本の帯を写真のように組み合わせます。



② 左側の横の帯を前に折ります。



③ 右側も同様に後ろに折って交差させ、同じ物をもう一組作ります。



④ 2組を写真のように互い違いに組み合わせしていきます。



⑤ 両端を筒状になるように持ちます。



⑥ それぞれを互い違いに組み合わせ、4本を1セットで編んでいきます。



⑦ 裏返して筒になるように持ち、適当な長さになるまで編み進めます。



⑧ 4本の中の長い帯1本を使って、後ろから回して結びます。



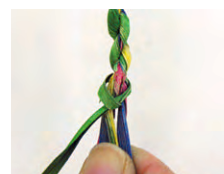
⑨ 全体をしぼりながら結びます。



⑩ 2本ずつ左右に分けて指先で同じ方向にねじり、巻きます。



⑪ ねじった方向とは逆に2つを編み込んでいきます。



⑫ ⑨と同様に4本中の長い帯を後ろから回して結びます。

遊び方

口の部分に指を入れてしっぽを引っ張ると、まるで噛みついて離れないへびみたい。単純だから楽しい、伝統的なオモチャです。



ハブグワ(指ハブ)

材料

アダン、クロツグの葉(幅7mm程度、長さ60cm程度に切ったもの) 4本、カッターナイフやハサミ

アダン、クロツグってどんな植物？



アダン

アダンは列島以南の沿岸域に分布するタコノキ科の常緑小高木。高さ2～5メートルになり、横に伸びる枝から気根を垂らして設地します。乾燥させて葉のトゲを切り落とし、ムシロ、カゴ、ソウリなどが作られました。



クロツグ

クロツグは南西諸島に自生するヤシ科の常緑性低木。島言葉でパニン、マーニなどと呼ばれ、葉は長いものでは3メートルになることも。葉や葉の芯、葉鞘の黒い部分を使ってカゴ、ザル、ホウキ、縄などが作られました。

美ら島財団のクラフト教室に参加してみませんか？

当財団では主にお子様を対象としてクラフト教室を開催しています。参加ご希望の方は下記ホームページでイベント情報をチェックしてみてください。

美ら島研究センター

<http://okichura.jp/ocrc/event/kousakushitu/>

熱帯・亜熱帯都市緑化植物園

http://www.oki-park.jp/midori/pl_st/claft.html

一般財団法人 沖縄美ら島財団 広報誌

季刊誌 南ぬ風 春号 vol.26
2013.1~3

編集・発行／

一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation

2013年1月発行

〒905-0206 沖縄県国頭郡本部町字石川888 TEL.0980-48-3645 FAX.0980-48-3900

一般財団法人 沖縄美ら島財団公式サイト《 <http://okichura.jp/> 》 国営沖縄記念公園公式サイト《 <http://oki-park.jp/> 》

新時代を迎えた美ら島財団に、 イノベーションとダイバーシティの発揮を期待。

琉球銀行 相談役
大城 勇夫 氏

新組織としてスタートを切った沖縄美ら島財団。
これからの財団に期待すること、
財団の前監事でもあった大城勇夫氏に聞いた。



ちゅ うまんちゅ 美らなる島の輝きを御万人へ

この島の自然、文化、歴史に
光を当て、掘り起こし、見つめ、守り、育み、繋ぐ…。
私たちは、その幸をもって、広く世界へ、そして未来へと橋を架け
美ら島のさらなる輝きを創造していきます。
すべては海・花・時を愛する人々の笑顔のために…。

ごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。新たな希望に満ちた
2013年を迎え心からお喜びを申し上げます。

昨年は沖縄本土復帰40周年、首里城公園20周年、沖縄美ら海水
族館10周年と大きな節目を迎え、加えて一般財団法人「沖縄美ら
島財団」としての新法人がスタートしました。これまで海洋博覧会記
念公園管理財団として公園管理運営の実績と地域社会への貢献
ができたことは、県民を始め多くの皆様のご指導、ご支援の賜物と
厚く感謝を申し上げます。

本年からは一般財団法人「沖縄美ら島財団」が本格的に胎動して
いく年となります。これまでは海洋博覧会記念公園『管理』財団でし
たが、新法人の名称は沖縄『美ら島』財団となり、『管理』の為のみの
財団ではなく、美ら島を『創造』する財団へと展開して行く所存です。
今後も国営沖縄記念公園(海洋博覧会地区、首里城地区)の管理運
営を中心としつつ、県内及び国内外への事業展開を図り、財団全体
を牽引する企画・創造・研究の能力とそれを実施する現場を大切に
し、これまで培ってきた技術力・チームワークを磨き、地域や各関係
機関と連携しながら、全員一丸となって輝
く『美ら島』創りに励んで行きたいと思いま
す。本年も益々のご指導ご鞭撻を頂けま
すよう、よろしくお願い申し上げます。



一般財団法人 沖縄美ら島財団
理事長 池田 孝之

経営理念

ロゴマーク



当財団が沖縄に所在し、「自然」、「歴史」、「文化」という3つの柱に関
する活動を展開していくことから、
「**沖縄の海**」をイメージして**青色**
「**やんばる**」をイメージして**ライムグリーン**
「**歴史・文化**」をイメージして**朱色**
をシンボルカラーとしました。
その3色を沖縄本島の形に配置し、沖縄から世界に向けて情報発信す
る想いをこめてシンボルマークとしました。

表紙イラストについて

与儀 勝之 Masayuki Yogi



誌名「南ぬ風(ふえーぬかじ)」とは…
南ぬ風は、梅雨明けとともに南から吹き込んでくる強い風のことです。この南の風によって育
まれてきた沖縄の自然や文化をさらに「南ぬ風」に載せ全国に発信していきたいと思ひます。

沖縄美ら島財団発足記念
スペシャルインタビューPart.1

琉球銀行相談役
大城 勇夫 氏 03

スペシャルインタビューPart.2

株式会社フジテレビジョン役員待遇
特区事業準備室長
松本 守 氏 07

新法人の概要 11

イベント特集

「第27回沖縄国際洋蘭博覧会&APOC11」 12

「第23回全国椿サミット沖縄大会」 14

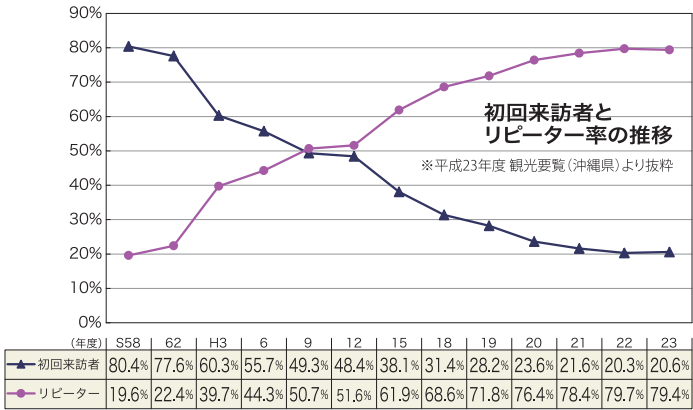
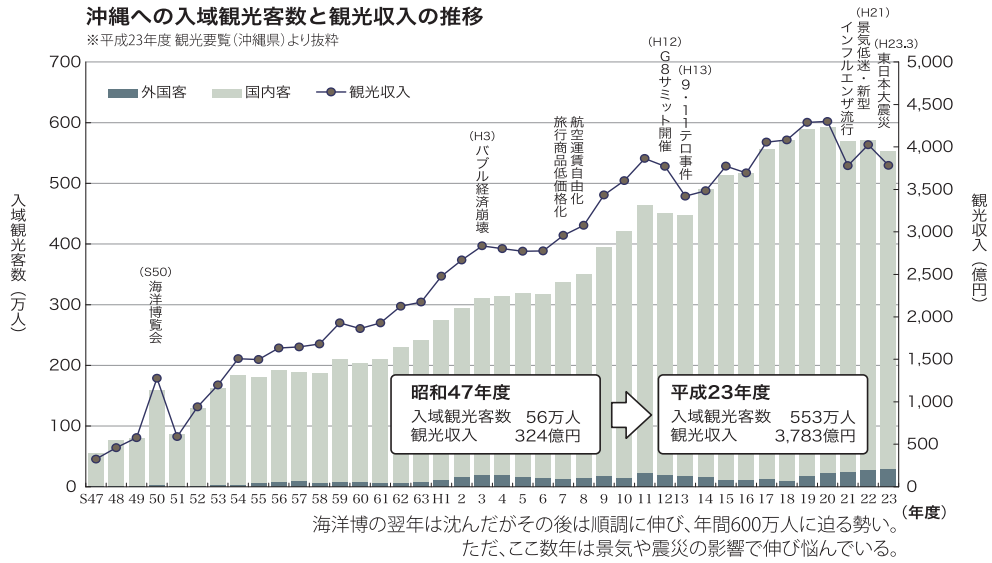
美ら島 ワクワク工作室

【ハブグワ(指ハブ)作り】 裏表紙

contents

平成24年10月1日、財団法人 海洋博覧会記念公園管理財団は『一般財団法人 沖縄美ら島財団』となりました。
新法人としての広報誌第1号をお届けします。今後とも皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今でも那覇市の国際通りは、多くの観光客が行き交う人気スポット。



「アムラー」「ちゅらさん」など沖縄ブームの頃、リピーターが増えていった。

大城 勇夫 ISAO OSHIRO

1947年生まれ。西南学院大学経済学部を卒業後、琉球銀行に入行。2000年常務を経て、2001年頭取に就任。2012年、相談役に就任。趣味は読書・水泳・将棋。

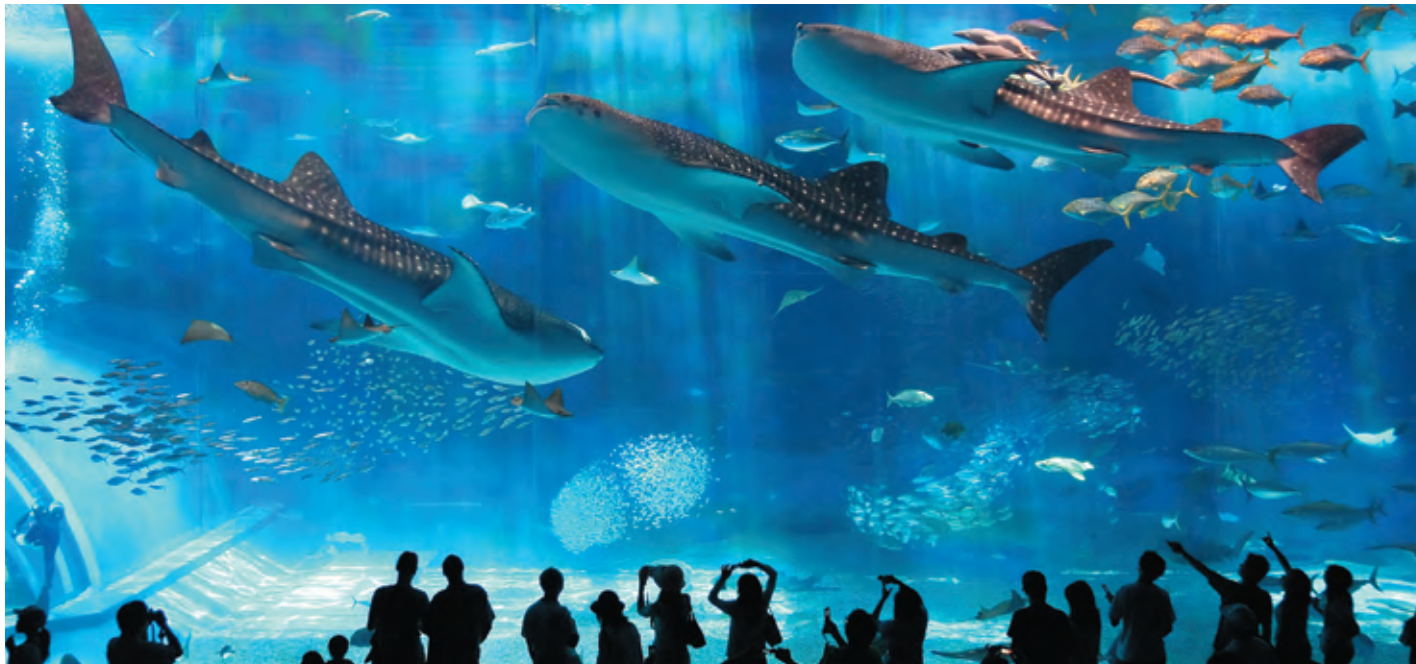
どのようなイノベーションが必要でしょうか？

大城「イノベーションとは、一般的には技術革新と捉えられるようですが、私はもっと広い

概念で【物事に対する新機軸、アプローチにより新たな価値を生み出す動き】と定義します。美ら海水族館、首里城公園をはじめとする財団の各種事業、運営に対し、過去の成功体験に安住することなく、常に新機軸を打ち出し、挑戦を続け、その成果として入園者の増強を図ることが肝要なのです。例えばジンベエザメの繁殖や、クジラの飼育といった新しい領域への挑戦ですね。首里城であれば外の景観を生かした事業はできないか、あるいは収蔵品の活用として、首里城外で展示などすることはできないか」

これまではない、大胆な発想で財団を見直すと、まだまだできることはありそうですね。

大城「新しい挑戦は可能だと思いますよ。もう一つ求められるのは、ダイバーシティつまり【多様性】という考え方です。観光客が、沖縄や海洋博公園・首里城に求めるニーズも多様化しています。例えば水族館では近年、中国人のお客さんが急増しています。彼らのニーズは、日本人のニーズとはおのずと異なるでしょう。アジアの中の沖縄を意識した時、さまざまな個性や価値観を積極的に取り込み、一人ひとりのニーズに的確に応える多



沖縄観光の拠点となっている沖縄美ら海水族館。

これまでの業績と
これからの発展を

大城さんは監事として、沖縄美ら島財団と深い関わりをお持ちだったそうですね？

大城「はい、平成14年5月に沖縄県銀行協会会長として海洋博記念公園管理財団の監事に就任して以来、通算6年のおつきあいになりますね。当時は沖縄美ら海水族館が開館し、新水族館効果により入園者数も大きく成長に向かう時期でした。監事として財団の順調な成長、発展を確認できたことを、大変うれしく思っています」

平成24年10月から新体制へと移行したわけですが、沖縄経済の専門家として、新しく生まれ変わった一般財団法人沖縄美ら島財団（以降、財団）に求めることは何ですか？

大城「言うまでもなく、観光は沖縄の基幹産業です。財団は、その前身である海洋博記念公園管理財団としての設立時から収益事業だけでなく、研究事業においても大きな成果を上げてきました。一般財団化したことで、今後は国からの支援が厳しくなるでしょう。収益力の強化が求められることは明らかですが、イベント単体やレジャー施設として商売繁盛すればいいというものはありません。

研究施設の充実や学術的事業もすっかり行なわなくてはならないでしょう。それが、ひいては沖縄観光へのこれまで以上の貢献につながると考えます」

海洋博公園と首里城公園という二つの施設は、沖縄観光の二大拠点だと言えます。

大城「その通りです。1972（昭和47）年5月に沖縄の本土復帰が実現して、この年度の沖縄への入域観光客数は56万人、観光収入は324億円でした。その後、沖縄観光は順調な成長、発展を遂げております。もっとも近年は景気の低迷や自然災害の影響、あるいは国内外観光地との競争の激化もあり、沖縄観光も伸び悩み傾向であります。それでも平成23年度は入域観光客数553万人、観光収入3783億円の実績を上げています。伸び悩みの原因を、景気や震災という外部要因に求めるのは簡単ですが、それでは何も解決しません」

沖縄観光のさらなる発展のために必要なことは何でしょうか？

大城「沖縄観光の強みとして、これまでリピーター率の高さが強調されておりました。事実、1983（昭和58）年度のリピーター率は19.6%で初回来訪者



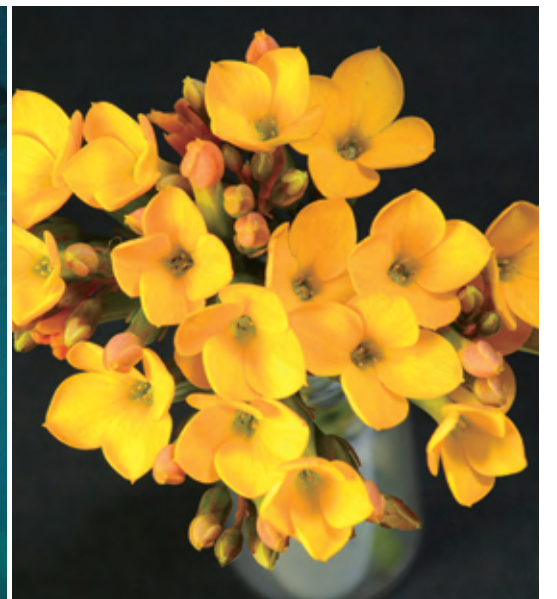
首里城鎮之間（さすのま）では、有料にて茶菓が楽しめる喫茶コーナーが設けられている。職員が伝統的な琉球菓子について説明し、さんびん茶と共に味わっていただくサービス。

沖縄の二大観光拠点として、自由な発想で 新しい提案ができる仕組みづくりを。

株式会社フジテレビジョン
役員待遇 特区事業準備室長

松本 守氏

首里と本部、両地域の観光の核として
国内でも珍しい「二眼レフ型公園」としての可能性を
公園行政に詳しく、財団の外部理事である松本守氏に聞いた。



左：飼育下にあるマンタ(オニイトマキエイ)の繁殖は世界初!平成19年に沖縄美ら海水族館「黒潮の海」大水槽でマンタが交尾・出産を達成。写真は出産した瞬間。仔魚は残念ながら出産6日目で死亡したものの、性成熟や仔魚に関する事など、今までわからなかったことが解明され、研究が進んでいる。
右：沖縄の絶滅危惧植物であるリュウキュウベンケイ等を活用した新しい園芸品種の作出にも取り組んでいる。

様性のある施設となることが求められます。よく、民間企業では「CS（顧客満足度）からCC（顧客中心主義）へ」と表現されますが、財団にもまさにこの考え方が必要です。来園者が何を求め、期待しているかのアンテナをさらに高く、大きく広げ、施設の充実、サービス向上に努め、強固な財務基盤、健全な財務状態の確立を図ることで更なる発展を遂げることが財団のミッションです。お客様の中にある潜在的な、モヤモヤしたニーズを、具体的なカタチで顕在化させること。企業も財団も同じです。顧客のニーズをどれだけ早く解決す

るか。財団発展の鍵すなわち答えは、お客様の中にこそあるのです」
なるほど、顧客中心主義ですね。強固な財務基盤をつくるための新しいチャレンジには、どのようなものを想定されますか？
大城「これまであまり力を入れてきませんでしたが、例えばグッズの開発などもいいでしょう。施設の優位性を活かした形で取り組めるといいですね。それから、財団の財産として今まではあまり意識されていませんでしたが、蓄積している技術があります。研究を収益に結びつけるのは一朝一夕にはできません。でも例えば

植物栽培の手法を有償化するなど、すぐに事業化できることもあります。20年30年先を見据え、将来は財団の知的財産つまりノウハウで稼げるような仕組みづくりも必要でしょう。それから何と言っても近隣・周辺との連携です。民間の知恵と、財団の技術の相互の交流があれば、新しい地域振興のカタチが見えてきます。易きにつくと工夫は生まれません。北部振興の起爆剤として、新しいことに挑戦し続ける姿勢が求められます」
今日はお忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。
大城「ありがとうございます」



松本 守 MAMORU MATSUMOTO

1949年生まれ。1972年、旧建設省（現在の国土交通省）に入省。建設省都市局公園緑地課長、国土交通省大臣官房審議官を経て、現在に至る。桐蔭横浜大学先端医用工学センター客員教授、㈱ランドスケープコンサルタンツ協会理事、一般財団法人公園財団副理事長（非常勤）などを兼任。北海道出身。

首里城公園は地元の想いと関係者の知恵の賜物

首里城復元にあたっては、さまざまな難問があったそうですね？

松本「琉球大学の移転が決まってから、首里城を復元することが本決まりになったのですが、予算の確保が問題でした。正殿の部分は県の土地だけど、あとは国有地だったので、県の土地を国に寄付してもらうのに自治省との交渉が大変でした。結局、国有財産にすると国が維持管理費も持つことになるから県の負担が少なくなるという理屈でどうか説得したんです。正殿は国のものですが、両側の北殿・南殿は住宅・都



市整備公団（現在のUR独立行政法人都市再生機構）の財政投融资を利用しました。融資ですから、入場料を有料にして返済に充てるというシステムです。年間利用者数が何万人の場合、いくらの入場料ならこれだけの収益が出るという計算を何度もしましたよ。こうしたノウハウが、実は美ら海水族館にも生きているんです」

建設費用を財政投融资で賄い、入場料で返済するという手法ですね。

松本「そうですね。もうひとつ、首里城基金というものも作られました。首里城再建にかける県民の強い想いを何とか反映した



首里城公園開園セレモニー。復元には首里・那覇の古老も多数協力した。

松本さんは公園行政のプロフェッショナルでいらっしゃるそうですね。

松本「私は沖縄の本土復帰の年に建設省に入省しました。海洋博はさまざまな省庁が関係する一大プロジェクトで、公園部分は建設省が担当していたので、その頃からの関わりということになります。計画段階では博覧会をどう成功させるかに主眼が置かれ、観光の拠点として整備するという発想はありませんでした。跡地問題が出た時、大阪万博の跡地も公園になっているし、海洋博の跡地も公園にしようという話になった。ここで初めて、振興という位置づけがなされて、観光の拠点となる公園のあり方が検討されました。今でもこれが命題だと思いますが、北部振興の起爆剤とするというのが跡地整備のミッションでした。そこで、都市公園法に基づいた国営公園とすることになったんです」

1976（昭和51）年当時、国営公園は奈良県の国営飛鳥・平城宮歴史公園、埼玉県の国営武蔵丘陵森林公園があるのみです。沖縄のように収益事業を行なう国営公園は特殊な存在だと言えますね。

松本「やはり沖縄振興という大きな命題がありますから、海洋

自由な発想でもっと新しい試みを

その後、復帰30周年記念事業として沖縄美ら海水族館がオープンしました。今や沖縄観光に欠かせない存在で、リピーターも多いですね。

松本「内田前館長が温めていた構想を中心に進めたプロジェクトです。当時最新の水族館で、黒潮の大水槽は強烈なインパクトでしたね。美ら海水族館以降、日本はちよつとした水族館ビジネスブームです。首都圏だけでも、サンシャイン、鴨川、江ノ島、八景島、スカイツリー、品川と水族館が話題になっています。僕は、財団が一般財団になったことで、新しいことを自由な発想でできるようになったと考えているんです。今まではお客さんが来るのを待っていた。これからは沖縄の外に出たていいじゃないですか。美ら海水族館は、世界的に見ても特異な技術やノウハウをたくさん持っています。それを使って、新しいビジネスが展開できるのではないのでしょうか」

博の施をうまく利用しながら、沖縄らしさを強調した内容になりました」

その後、復帰20周年で首里城が復元され、首里城公園の開園となるわけですが…。

松本「復元は首里城復元期成会など地元の方々の並々ならぬ思い入れがあって実現できたもの。戦前は国宝だったんですから、首里城は国民全体で守るべき財産です。当然、こちらも国営公園にすべきと思いきや、大蔵省には『なんで一つの県に二つも国営公園が!?』と反対されました。都市公園法では一つの都道府県に二つの国営公園は造れないという理屈です。こちらでも知恵を絞りましたね（笑）。奈良の飛鳥公園は三つの地区で一つの国営公園になっている。この前例をふまえ、『沖縄記念公園』ということにした。奈良はひとつの町の中に三つの地区があるけれど、こちらは70キロも離れているんですが、そこを何とか（笑）。首里城公園と海洋博公園、二つで一つの国営公園という形を取ることができました」



左：大水槽へとジンベエザメを移動させている場面。巨大な生き物は運搬も大プロジェクトとなる。こうしたノウハウも含め、美ら海水族館には独自の技術の蓄積がある。右：ナンヨウマンタへのエサやり。水面を流すようにして、ゆっくりとエサを落とす。水族館は飼育技術も問われる時代だ。



新法人となった当財団の本部棟と研究棟。

新法人の概要

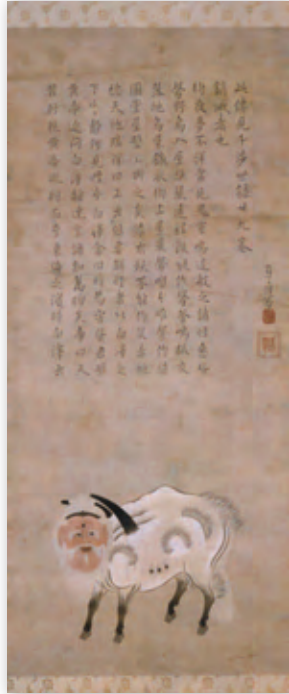


黒漆雲龍螺鈿大盆



絹黄色地梅桜楓雪輪手鞠文様紅型袷衣裳

白澤之図
(沖縄県指定有形文化財)



スマートコンテナに植えられた植物が那覇市国際通りを彩る。

新法人への移行

公益法人制度の改革により、平成20年12月1日に新法が施行されました。この法律により従来の公益法人は、公益財団法人か一般財団法人への移行の選択を求められました。財団は平成24年10月1日に、制度上の制約がなく事業や法人運営等を自由に実施できる一般財団法人への移行を選択し、名称も財団法人海洋博覧会記念公園管理財団より一般財団法人沖縄美ら島財団へと変更しました。当財団が実施する事業も、これまでの事業以外に、調査研究、普及啓発等の公益事業や公園緑地の管理運営等で蓄積したノウハウで、収益性の高い事業の展開が、新たに可能となりました。

確かに、収益の確保は財団の課題です。入館料だけに頼らない仕組みづくりも大切です。

松本「沖縄の水産資源も活かすカタチで、ただ食べるんじゃないくて、どう使うかを考えてもいい。熱帯ドリームセンターを中心とした植物栽培の技術も同じです。ただし、こうした技術やノウハウも含め、財団の財産はあくまでも沖縄のもの。財産は沖縄経済の振興に役立てるべきです。財団が持つ今の人的資源で、地域の漁協やJA、企業と連携すれば新しいビジネスの可能性は大いにある。ただ、事業として安定的に経営するには、国営公園とどうつきあうかという問題もある。沖縄の場合は、収益性のある事業展開をしている点で、他の国営公園とは性格が違います。何年かに一度、指定管理団体が代わるかもしれないという不安定な状況では、どんな企業だって投資もできません。財団にはこの40年近くの蓄積があるから、国や県とも相談して、より安定的に継続して経営できる環境づくりを進めるべきですよ」



新しいビジネス…どんな可能性を想定されていますか？

松本「どこか外部の水族館のプロデュースをしても面白い。沖縄の地の利を活かして、アジア諸国との交流もどんどん進めたらいい。それから、水族館を体験型に変えていってもいいですね。首里城については、収蔵品の情報公開をすべきでしょう。どんなものがあるかをインターネットで見られるデータベースを作れば、研究者たちに大いに活用されると思いますよ。人材交流としてのインターシップにも、もっと力を入れたらいいですよ。収益を上げるビジネスだけでなく、公益事業の部分でもできることはたくさんあるでしょう」



展示用魚類の調達。

新規事業立上げの準備

新法人移行先立ち、平成23年度には移行後に取り組む新規事業の可能性について調査を行うプロジェクトチームを立ち上げ、平成24年4月にはプロジェクトチームを引き継ぐ事業戦略室を本部内に開設しました。

事業戦略室ではプロジェクトチームの成果を基に財団のノウハウを活用した様々なリーディングプロジェクトに取り組んでおり、灌水等のメンテナンスを容易にするプランター「スマートコンテナ」の開発や国内外の水族館へ展示用魚類の提供や旅行代理店とタイアップした当財団専門スタッフが解説を行う観光客向けのオプショナルツアーを開催しています。

その他にも地元漁協と連携した食用魚類の供給等にも取り組んでいます。



無菌状態での植物の繁殖にトライする研究者たち。表舞台には出ないこうした地道な研究が、財団の財産でもある。

財団の可能性は、これからさらに広がるわけですね？今日はお忙しい中をありがとうございます。

松本「こちらこそ。これからの財団に期待しています」



新法人での第1号指定管理者(候補者)に選定された名護青少年の家(正面玄関)。

新法人での第二号指定管理者(候補者)に選定

さらに、指定管理者制度への対応として、国営公園の管理運営で培った施設管理のノウハウと環境教育の実績の展開を目指し、沖縄県より公募された名護青少年の家の指定管理者へ応募し、平成25年度から5ヶ年間の指定管理者(候補者)として選定されました。

関連会社の設立

また、スマートコンテナについては民間企業との合弁事業として新会社を設立し、民間企業のノウハウを活用することで、販路の拡大を図っていきます。

今後も財団のノウハウを活かし、安定した財団運営と地元事業者と連携した地域振興に寄与する多様な事業に取り組んでいきます。



FM沖縄とコラボレーション
「ハッピーアイランド」
と洋蘭博・APOC 11
がコラボレーション。
色とりどりの蘭の中
で、聴衆者から抽選
で選ばれたカップル
3組の結婚式を執り
行います。

FM沖縄とコラボレーション

ランに関する講演会(基調講演)

平成25年2月2日(土)PM1:00~PM5:00
(熱帯・亜熱帯都市緑化植物園 1階視聴覚室)



横田 昌嗣 氏
琉球大学
理学部教授



Mr.Yung-Yu Lin
Brother Orchid
Nursery Co.,LTD.



「台湾ラン産業の現在」



三位 正洋 氏
千葉大学
園芸学研究科教授



Dr.Stephan Gale
Senior Conservation
Officer Flora Conservation
Department Kadonose
Farm & Botanic Garden



「インドビルマにおける絶滅危惧種ラン
の救出および各生息域の特別保全策」

イベント 内容

ランに関する講演会 および研究発表会(国際蘭会議)

一般の方も入場OKの
基調講演と研究発表会
「環境保全」「ラン栽培の振興」「花と緑の
潤いある生活」「国際交流をテーマとした
国際蘭会議。研究者や生産者に限らず、愛
好家ならびに関係機関、一般の方々もご出
席いただけます。国内から2名、海外から
2名の専門家を招きして基調講演を開
催するほか、口頭発表ポスター発表なども
実施。口頭発表は海外から25名、国内から25
名を予定しており、ポスター発表は40題を予
定しています。蘭に関する情報収集や情報
交換、国際交流にお越しください。

会場 Map

海洋博公園全体が、 花であふれる10日間

期間中は、スタンプラリーや蘭の栽培相談コーナー、
レイ作り教室、いけばな教室、洋蘭プレゼントクイズ、
各種ステージイベント、オーキッドコンサートなども実施。
会場全体で、3万株もの蘭に彩られる。
洋蘭博・APOC 11にぜひ足をお運びください。



沖縄国際洋蘭博覧会
<http://oki-park.jp/oios/>
APOC11
<http://apoc11.jp/>



海洋博公園にて同時開催

今年は恒例の沖縄国際洋蘭博覧会に加え、
アジア太平洋蘭会議・蘭展—沖縄大会—が同時開催。
2月2日(土)~11日(月・祝)までの期間中は、
蘭の展示や基調講演、イベントなど盛り沢山です。

審査会

国内外から20以上の国と地域がエントリー アジア太平洋地域最大級の蘭コンクール



①蘭で彩られたフレーム。審査会に出品された蘭はもちろん、ディスプレイも見もの
②前回のOIOSで最優秀賞を受賞した作品 ③真剣な表情で審査する審査員の皆さん。
厳正な審査が行なわれる



④昨年の沖縄国際洋蘭博覧会の様子。熱帯ドリームセンター内が、普段よりも華やかな雰囲気
⑤今回はAPOCフレグランス審査の部も開催。その花のあるべき香りをベースに
評価する。パフューマーも審査に参加する ⑥寄せ植え審査の部。アジアらしいオリエン
タルな雰囲気 ⑦美術工芸審査の部。複数種類の蘭の押し花を使った組作品



前回の沖縄国際洋蘭博覧会フラワーデザイン審査の部最優秀作品。この部は、会場で完成形に作り上げる。

国内外の一般公募により
出展されたラン科植物を審査
今回で27回目となる沖縄国際洋蘭博覧会
は、洋蘭の普及と国際交流、観光振興、花卉
園芸の普及、芸術文化の創造、都市緑化の
推進を図ることを目的としています。今回
は、アジア太平洋地域を主に20以上の国と地
域が参加し、3年毎に開催される国際的な
蘭の展示会と学術会議の「第11回アジア太
平洋蘭会議・蘭展」(以下、APOC)を同
時開催。沖縄の魅力国内外へ発信し、花
と緑の豊かな地域づくりへと貢献します。
蘭展のメインイベントは、新花を対象と
した認定審査とコンクール審査。コンク
ール審査は、鉢物審査の部、切花審査の部、フ
ラワーデザイン審査の部、ディスプレイ審査
の部、国外出展審査の部、フレグランス審査
の部、美術工芸審査の部、寄せ植え審査の
部という8部門で、合計約400組・20
00株が美しさを競います。部門別に定め
る審査要綱により、審査員の投票で最優秀
賞、優秀賞、優良賞、奨励賞を決定。この時
期の最高峰レベルの蘭が一堂に会する光景
は、圧巻です。ベストコンディションの花たち
に出会うために、できるだけ早い時期での
来場をおすすめします。



名護市内の3校(大宮155
名・6学年、名護150名・5学
年、羽地100名・5.6学年)
で実施します。12/10(月)、
12(水)の2日間の日程で
各学校へ出向きランの栽
培教室を実施します。



君もラン愛好家 子ども達が咲かせた ランの展示会

名護市内の小学校
を対象に、財団職員指
導のもと、子どもたち
がコチョウラン栽培に
チャレンジしました。
本大会開催に合わせ
て開花させた蘭は、博
覧会会場で展示しま
す。また、子どもたち
が栽培の中で気づい
たことなどをパネルに
して紹介します。お見
逃しなく!

同時開催

美ら海花まつり



海洋博公園中央ゲート、噴水
広場、レストハウスなどで、美ら
海花まつりを開催。花でかた
どったジンベエザメやカクレク
マノミなどが展示され、期間中
の土日は苗木の無料配布やラ
イプなどのイベントも。

国際展示即売会& ドンドルマアイス



ラン科植物の普及の一環として、世界
各国からのセールスペースを設けた
展示即売会を実施。また、蘭の根を
使ってネバリを出したトルコのアイス
クリーム「ドンドルマアイス」も販売。



大会スケジュール
※のついているものは、参加費が必要です。

2/15日(金)

午後／海洋博公園ツバキ展(海洋博公園)
全国椿サミット協議会・理事会(海洋博公園)
日本ツバキ協会総会(本部町)
沖縄大会開催行事(本部町)

夕方／沖縄大会開会式(本部町民体育館)

【基調講演】

箱田直紀(日本ツバキ協会会長)
「ツバキの文化史と沖縄のツバキ」

※参加者交流会(本部町民体育館)

2/16日(土)

午前／全国椿サミットフォーラム
(本部町中央公民館)

8:30～11:40／参加費:無料【要事前申込】

【基調講演】

高良倉吉(琉球大学教授)
「琉球王朝時代の文化と椿」

【パネルディスカッション】

テーマ:「見つめ直そう琉球の椿
ー琉球の椿の魅力その普及・活用ー」

＜パネラー＞

本部町・大宜味村・国頭村の首長

高良 倉吉 氏(琉球大学教授)

新里 孝和 氏(元琉球大学教授)

平良 治男 氏(沖縄椿協会会長)

＜コーディネーター＞

当財団常務理事の花城良廣

午後／大宜味村椿まつり・
集落探訪～国頭村ツバキまつり

夕方／※地元歓迎会(大宜味村・国頭村)

2/17日(日)・18日(月)

2月17日(日)／終日

※3町村探訪地ツアー・オプションツアー

2月18日(月)／終日

※宮古島の椿・探訪地オプションツアー



問い合わせ先 第23回全国椿サミット
沖縄大会実行委員会事務局
(一般財団法人 沖縄美ら島財団 総合研究センター内)
〒905-0206 沖縄県本部町字石川1888番地
TEL: 0980-48-2266
e-mail: tsubakisummit@okichura.jp



琉球の香

りゅうきゅうのかおり

ヒメサザンカとヤブツバキの自然交配で生まれたとされる種。同じような自然交配種に、琉球の香姫、東香姫(ひがしかおりひめ)がある。今後このような自然交配種が出る可能性は大きい。

海洋博公園ツバキ展【2/15(金)～2/17(日)】

沖縄椿協会会員が丹精込めて育て上げた椿の名作300鉢の展示を予定。原種や沖縄七名花、海外原種椿を一度に見るチャンスだ。また、椿の加工品や工芸品の展示、相談コーナーや情報コーナー、苗木や製品の展示販売コーナーも。



おおぎみ椿まつり
【2/16(土)・17(日)】

山林の中を歩く散策道探勝ツアーや沖縄椿協会による栽培講座、植樹イベントなどを開催。

国頭村ツバキまつり【2/9(土)～2/17(日)】

椿展や苗木の無料配布、植樹や木工の体験、販売コーナーなど盛り沢山。育て方講座も開催。



第23回 全国椿サミット沖縄大会

見つめ直そう琉球の椿
～琉球の椿の魅力とその普及・活用～

全国椿サミットは、日本ツバキ協会会員をはじめとする全国の椿愛好家やツバキ・サザンカを市町村の花にしている地方公共団体の方々が集まり、情報交換と交流を通じて地域の活性化につなげるイベント。
今年は本部町、国頭村、大宜味村での共同開催です。

各会場それぞれに
楽しいイベントを実施
全国椿サミット沖縄大会の会場の一つは、海洋博公園。さまざまな椿の実物展示をはじめ、利用に関する展示、県内愛好家らの活動の紹介します。また、海洋博公園のある本部町では関連行事を開催するほか、国頭村と大宜味村で毎年開催されている椿まつりとも連動。各会場を回るツアーもありますので、沖縄の椿の魅力をたっぷり堪能してみてください。

本部町【2/15(金)～2/17(日)】



海洋博公園のある本部町では、日本ツバキ協会総会、基調講演やパネルディスカッション、開会式、交流会などの関連イベントが開催される。海・山コースなどのオプションツアーもあり。

やんばる4会場を周遊しながら、
椿の魅力にふれる3日間

南方から日本へ
椿を伝えた琉球弧
椿は南方から沖縄を経て日本本土に伝わったと考えられる植物。琉球弧を島伝いに、シルクロードならぬ椿ロードが広がっているのです。日本原産ツバキ属4種のうち、沖縄にはヤブツバキ、ヒメサザンカ、サザンカの3種類が自生。また、椿は琉球漆器のモチーフとして好まれ、琉球舞踊でも頭に椿を飾る演目があるなど、琉球王国時代から文化の一部でした。特にヒメサザンカは香り椿の交配種として近年注目されており、園芸品種でも沖縄七名花など観賞価値の高い品種が多いのも特長です。さらに、当財団では海外原種椿を100種類ほど保有。これだけの品種を増えている研究機関は、世界的にも類を見ないと言えるでしょう。



うみないび

「うみないび」は琉球王朝語でお姫様のこと。沖縄椿協会顧問の松田氏が命名した。沖縄産ヤブツバキからの選抜種で、花は濃紅色の一重、盃状咲き筒しべで小輪。気品ある花だが木としては強健。



琉球白妙

りゅうきゅうしろたえ

40枚以上の花びらを持つ千重咲きの大輪。宜野湾市の桃原家にある原木は、琉球王朝時代に植えられたという伝承以外、そのルーツを物語るような詳しい情報がない。桐野秋豊氏が命名。



久米紅

くめくれない

沖縄ではクミアカと呼ばれ、古くから普及している。千重咲きとボタン咲きの中大輪で、1～2月咲き。原木はうるま市具志川の我喜屋家と、久米島町仲里の仲村家にある。